



親子正月しめ飾りづくり体験（12月7日）



親子文化祭『風船ショー』（11月10日）

2002年を振り返って⑧

前略2003年の私

## 全国大会 3位を 成し遂げて



きむらかずき

新生町/木村一樹さん/緑陽中学校2年

僕たち、緑陽中学校サッカー部は、一昨年初の全国大会出場を果たしました。しかし、目標であった『全道優勝・全国ベスト4』を成し遂げることができず、悔しい思いをしました。そこで、この目標を成し遂げるために、毎日厳しい練習に取り組んできました。

昨年の中体連では、全国大会を経験している3年生とともに戦い、胆振東部大会、胆振大会で優勝し、全道大会へ進出しました。

決勝戦は、何度も練習試合を通してお互いを高めているチーム、蘭東中学校でした。延長戦でも、決着がつかず両校優勝となり、初の全道優勝を成し遂げました。

そして、全国大会。1回戦から延長Vゴール勝ちという厳しい試合で勝ち上がり、目標であった『全国大会ベスト4』をチーム全員の力で成し遂げることができました。同時に、北海道勢初の『全国3位』という快挙を成し遂げることができました。全国大会で、目標達成の満足感と準決勝で敗れた悔しさを味わうことができたことは、貴重な経験でした。

今年は、室蘭で開催される全国大会出場、そして全国制覇を目標とし、今まで以上にチーム一丸となって練習に取り組んでいこうと思います。そのために、練習での意識をもっと高くし、技術面、メンタル面を高めていきたいと思います。

**ファミリーサポートセンターの活動を通して**

ファミリーサポートセンターとの出会いは、私の入院が決まったときでした。

当時、6カ月の娘を抱え宮城県出身の私には、頼れる親せきも近くになく、途方にくれていたとき、ファミリーサポートセンターを知りました。

他人に子どもを預けるには、まだ赤ちゃんだと、正直不安もありましたが、援助提供者の方のやさしそうなお人柄ときちんとした事前打ち合わせに、安心して入院し、通院することもできました。

私は、援助の信頼とともに提供



を行う両方会員として会員登録をしていましたので、今度は私がみなさんのお役に立ちたい、そして私同様困っているお母さんたちのお手伝いが出来ればと思っていたところ、ちょうど娘と同じくらいのお子さんを預かる機会に恵まれ、娘も大喜びで楽しい時間を過ごすことができました。

おかげさまで私も元氣もりもり。

たくさんのご投稿、  
ありがとうございます。  
した。

掲載させていただいた  
『手紙』は順不同です。

娘も4歳となりましたので、昨年4月から青葉地区サプリーターとしてお手伝いさせていただいています。

ファミリーサポートセンターは、温かい家庭での託児です。親も子どもも心から安心できるように今年も続けます。

（緑町/宮脇京子さん・28歳）